

# デジタルアーカイブの長期利用に関して

杉本重雄

筑波大学・図書館情報メディア研究科・知的コミュニティ基盤研究センター

## デジタルアーカイブの概観

- 「デジタルアーカイブ」とは？
  - (長期に渡る)提供を目的として、デジタル資料を収集、蓄積したもの
- デジタルアーカイブのコンテンツは？
  - 図書やマニュスクリプト、文化遺産などをデジタル化して作成した資料
  - 電子文書や電子的記録(データ)など、もともと電子的に作られた資料

## デジタルアーカイブの概観

- デジタルアーカイブ
  - 貴重書や歴史的文書などを提供するもの
  - 公文書(行政文書)を保存、提供するもの
  - 学術論文を収集し、提供するもの
  - Web上の資料を収集し提供するもの
  - さまざまな文化遺産を電子化し、提供するもの
  - 電子出版物(図書や雑誌)を提供するもの
  - そのほか、教育情報資源や特定分野の情報資源などを収集、蓄積、提供するもの

## デジタルアーカイブと長期利用、長期保存

- アーカイブにもいろいろある
- アーカイブと保存
  - 収集・蓄積、保存、提供を分けることができる
- 資料の何を保存するか
  - 保存すべきものは何なのか
  - Look and Feelまで、それとも中身のテキストだけ
- 保存のための文書機能、品質の低減(degrade)
  - 機能や品質を100%保証することは難しい
  - degradeはどの程度許されるのか。ガイドラインの必要性

## デジタルアーカイブと長期利用、長期保存

- アーカイブは長命か
  - アーカイブそのもののおかれる環境、制度が変わることもある
- 非デジタル資料のデジタル化とデジタル資料の保存
  - デジタル化のコストとメリット
  - デジタルアーカイブの上に作られる新たな情報と知識

## いろいろなデジタルアーカイブ

- 貴重資料や文化遺産のアーカイブ
  - 非デジタル資料のデジタル化
  - 図書、マニュスクリプトから、自然、遺跡、無形文化財まで
- Webアーカイブ
  - Web上には現代のホットな話題を表した資料がいっぱいあるから将来に残したい
  - インターネットアーカイブ、イントラネットアーカイブ
  - 組織のポリシーに基づくアーカイブ
  - メタデータのコストはできるだけ下げたい

## いろいろなデジタルアーカイブ

- 機関リポジトリ
  - 組織(機関)が発信する学術情報資源を収集提供することが注目されている。収集したものは保存しなければならない。
- 公文書のアーカイブ
  - 電子政府や電子自治体の進展とともに電子公文書や電子データの保存が求められることになる
  - Born Digital資料の完璧な保存は不可能
    - 保存の観点から、文書作りに制約をかけることは不可
  - 文書のライフサイクル全体を見たガイドラインの必要性

## デジタルアーカイブとメタデータ

- メタデータは重要な要素
  - メタデータだけでは保存はできないが、メタデータなしには保存はできない
- OAIS
  - デジタルデータ、電子文書の保存のための参照モデルとメタデータ
- PREMIS
  - デジタル情報資源の保存のためのメタデータ

## まとめ

- デジタルアーカイブということばで表されるものであっても、目的と内容に応じていろいろなものがあるので、ひとくくりにはしにくい
- それなりのコストをかけて作ったものは、長期に渡って利用できるようにしなければならない
- デジタル情報資源を100%もとのまま利用可能な状態で保存し続けることは不可能
  - 現実的な保存方法を合意する必要がある
- 技術面だけではなく、制度、利用者の側面も忘れてはならない